

2026 年 7 月 08 日

『みんなのスポーツ』 7 月号 (No.525) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の 7 月号は「部活動の地域展開を支える総合型地域スポーツクラブ」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・感じた事、参考になる点を4点記載します。



(1) 研修の常識を「脱・会議室」でアップデート 貸し切り列車が教えてくれた『動く対話』のススメ 秋田県 大館北秋田ブロック

まあユニークなことを考えたものである。秋田内陸縦貫鉄道の1両を借り切って、車窓からの紅葉を楽しみながら車内研修、目的地ではウォーキング。動く研修である。

振り返ってみると会社勤務時代の 40 年くらい前、部門の研修担当を兼務。年 1 回会社の保養所や研修道場を使って1泊 2 日で研修を行なっていました。開放感から色々な斬新な意見、組織力の向上他があったことを思い出しました。知っている限りでは大和市さんは半径250km範囲内の他都市と交流研修を1泊 2 日で行っておられる。全員が心を通わせる機会になる「交流」大切だという考え方には同感。全く別な視点から得る情報他も多く大事であると私は考えています。

(2) わが町の健康・体力づくり 静岡県袋井市

人口 8.7 万人、スポーツ推進委員は 29 名で男女半々、平均年齢 48.4 歳と横須賀市より 10 歳若い。スポーツ推進委員会の 3 つある取り組みの 3 番目、地域団体との連携・協働(スポーツ推進委員の派遣事業)である。学校や地域にスポーツ推進委員が出向くことで、より多くの市民の方が身近な場所でスポーツに触れる機会を増やし、習慣化の促進を目的にされているとの事。

横須賀の協議会においても、小学校やコミュニティーセンターからの要請で 6 月に数件行った。また、学区においては、地域の社会福祉協議会などからの依頼で行った。これからも地域の先に記載の団体のほかに、子供会や町内会、高齢者団体などに行っていく必要もあると感じています。地域全体で関連する団体などからの要請に応じる形で行くことも考えていく必要があるように考えます。

(3) デザインと発信力で地域を動かす 東京都目黒区「めぐろ区報」 スポーツ推進委員の魅力を届ける 広報術

2026 年 5 月 15 日発行の「めぐろ区報」において、スポーツ推進委員を主体とした特集が組まれました。約 16 万世帯(横須賀は約 18 万世帯)へ全戸配布される特性を活かして、区民の「知りたい」に徹底的に寄り添って作られた紙面は、多くの反響を呼んだそうです。読んでいて、①企画からの学び ②デザインの学びなどが私も多くの気づきを得ました。今までに市の広報よこすかに、協議会の活動他を掲載頂いたことはありませんが、今一度相談はしてみたいと思います。区報めぐろ

で紹介された記事内容はわかりやすく、今すぐに使えそうなものもあり関係者と協議をしていきたいと感じました。 スポ推よこすかやホームページで情報提供や報告していますがこれらの内容他に ついても点検していきたいと思います。

(4) キャリア処方箋

スポーツ推進委員のために連載で行われているもので、今月号は『**職場の人間関係を3つに「仕 分ける」だけで、仕事ごとのストレスは9割消せる**』です。読んでいくと、ひとつ目は人間関係を3つ に分ける。①機能的な関係(ビジネス) ②相互協力の関係(ギブ&テイク) ③心理的安全関係 (オアシス)に分け、対人関係のストレスを軽減する方法が紹介されています。

人間関係を整理出来たら、次はどこにエネルギーを使うかになります。エネルギーの配分は、①に 1割、**②に7割**、そして③に2割と紹介されています。

人間関係を線引きすること(仕分け)で、得られる変化が 3 つあるとまとめられています。「この人と は業務上だけ」と割り切れるようになると、苦手な相手との言動に必要以上に受け止められる。時 間とエネルギーを有効に使えるようになる。特に信頼できる相手との関係に集中できること、無駄な 気疲れが減る。「職場」がすべてではない、人間関係に距離感をもてるようになる、いろいろな つながりも自然と増えると書かれています。

人間関係の「仕分け」は、誰かを遠ざけるものでなく、自分の限られたエネルギーをどこに注ぐかを 丁寧に選び取り、心を守るための考え方と感じました。 自分の体調も考え取り組んでいきたいと思 います。

今月号で4つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づ いたことでできることから始めて(行動)みませんか？

*** 本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがある**ように私は思います。年間購読されなかった 方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。**問題意識や感度を高めていく**と紹介さ れている事例が使える場合と横須賀ではこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もある などと思います。ここへきて「みんなのスポーツ」は紙面が大きく変わってきていると感じます。紹介さ れていることがそのまま使える、本当に読みやすい、わかりやすい事例が多いなどです。

活動はみんなでは是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上